

製品名: STMN1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86473**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:17 kDa; Observed MW:17 kDa

抗原情報

遺伝子名	STMN1
別名	Lag; SMN; OP18; PP17; PP19; PR22; LAP18; C1orf215
遺伝子 ID	3925, 16765, 29332
SwissProt ID	P16949, P54227, P13668
免疫原	ヒト STMN1 の合成ペプチド

背景

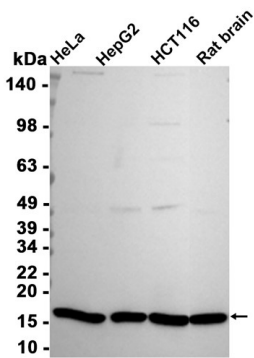
この遺伝子はスタスミンファミリーに属する。細胞内環境の制御シグナルを統合する細胞内リレーとして機能すると提唱されてい

る、普遍的な細胞質リン酸化タンパク質をコードしている。コードされているタンパク質は、微小管を不安定化させることで微小管フィラメント系の制御に関与する。微小管の集合を阻害し、分解を促進する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2009年2月]

研究分野

-

画像データ



STMN1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、HepG2、HCT116 細胞およびラット脳組織からの抽出物をウエスタンブロット分析しました。